



日本触媒

# 2026年3月期 決算説明資料

2026年5月14日

株式会社日本触媒

代表取締役社長 野田 和宏

# 目次

## I. 2025年度通期 実績

## II. 事業の状況・トピックス

## III. 株主還元

## 参考資料

用語解説	
AA	アクリル酸
AES	アクリル酸エステル
SAP	高吸水性樹脂
EO	酸化エチレン
セグメント利益	「営業利益」 + 「持分法による投資損益」

## 2025年度通期実績【対前年 減収・減益】

売上収益	3,999億円	(▲94億円)
営業利益	175億円	(▲15億円)
セグメント利益*1	187億円	(▲43億円)
税引前利益	215億円	(▲17億円)
当期利益*2	168億円	(▲6億円)

## 2026年度通期予想

2027年3月期の業績予想につきましては、中東情勢の緊迫化による当社グループへの影響を、合理的に算出することが非常に困難であるため、現時点では未定とさせていただきます。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

\*1：セグメント利益：「営業利益」＋「持分法による投資損益」

\*2：当期利益は、「親会社の所有者に帰属する当期利益」を指す

## 全体では対前年減収減益

### ソリューションズ事業は持分法投資損益を除き増収増益

- エレクトロニクス材料、SAPの数量が増加
- 原料価格下落によるスプレッド拡大
- 販管費や製造固定費の増加、在庫評価差益の減少
- 持分法適用会社での減損実施

# I . 2025年度通期 実績

---

## 業績の概要

(億円)	FY2024	FY2025	増減	増減率
	通期	通期		
	実績	実績		
<b>売上収益</b>	<b>4,093</b>	<b>3,999</b>	▲ 94	▲2.3%
<b>営業利益</b>	<b>191</b>	<b>175</b>	▲ 15	▲8.0%
(利益率)	4.7%	4.4%	▲0.3p	-
持分法による投資損益	40	12	▲ 28	▲70.1%
<b>セグメント利益<sup>*1</sup></b>	<b>231</b>	<b>187</b>	▲ 43	▲18.8%
<b>税引前利益</b>	<b>232</b>	<b>215</b>	▲ 17	▲7.4%
<b>当期利益<sup>*2</sup></b>	<b>174</b>	<b>168</b>	▲ 6	▲3.6%
<b>ROE</b>	<b>4.5%</b>	<b>4.3%</b>	▲0.2p	-
<b>ROA</b>	<b>4.3%</b>	<b>3.8%</b>	▲0.5p	-
<b>ROIC<sup>*3</sup></b>	<b>4.3%</b>	<b>3.3%</b>	▲1.0p	-
ナフサ価格 (円/kL)	75,600	65,200	▲ 10,400	▲13.8%
円/ドル	153	151	▲ 2	▲1.2%
円/ユーロ	164	175	+11	+6.7%

\*1：セグメント利益：「営業利益」＋「持分法による投資損益」

\*2：当期利益は、「親会社の所有者に帰属する当期利益」を指す

\*3：ROIC＝（税引後営業利益＋持分法による投資損益）÷（有利子負債＋株主資本）

## セグメント別売上・利益

事業領域 (億円)	FY2024	FY2025	増減	増減率
	通期	通期		
	実績	実績		
AA・SAP	2,221	2,184	▲ 37	▲1.7%
EO他	720	604	▲ 116	▲16.1%
<b>マテリアルズ事業 合計</b>	<b>2,941</b>	<b>2,788</b>	<b>▲ 153</b>	<b>▲5.2%</b>
スペシャリティ	516	489	▲ 26	▲5.1%
エレクトロニクス	209	249	+40	+19.0%
その他*1	428	473	+45	+10.5%
<b>ソリューションズ事業 合計</b>	<b>1,153</b>	<b>1,211</b>	<b>+58</b>	<b>+5.1%</b>
<b>売上収益 合計</b>	<b>4,093</b>	<b>3,999</b>	<b>▲ 94</b>	<b>▲2.3%</b>
マテリアルズ 事業	159	119	▲ 39	▲24.8%
ソリューションズ 事業	61	60	▲ 1	▲2.4%
全社共通	10	8	▲ 3	▲24.3%
<b>セグメント利益 合計</b>	<b>231</b>	<b>187</b>	<b>▲ 43</b>	<b>▲18.8%</b>

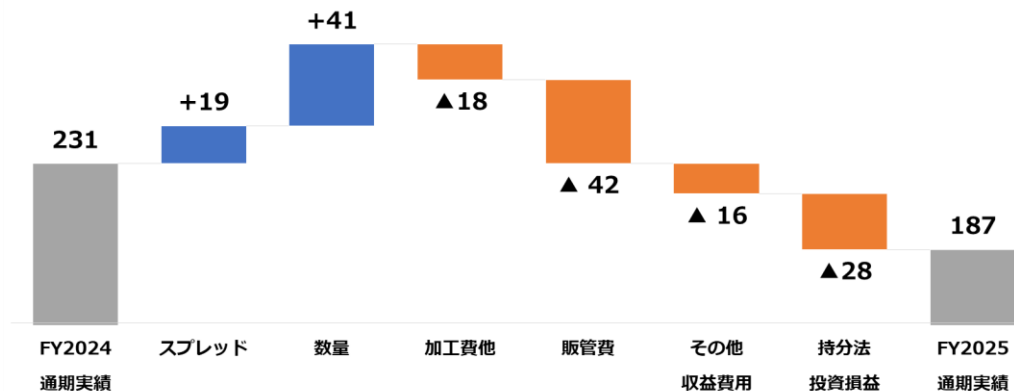
\*1：コンストラクション、エネルギー（電池、水素）、環境触媒、ハウスホールド、健康・医療 等

# 全社 利益増減分析

- ・ プラス要因：販売数量増加、スプレッド拡大、マイナス要因：販管費の増加、持分法適用会社の減損
- ・ 全体としては、マテリアルズ事業の収益悪化により減益

(内訳)

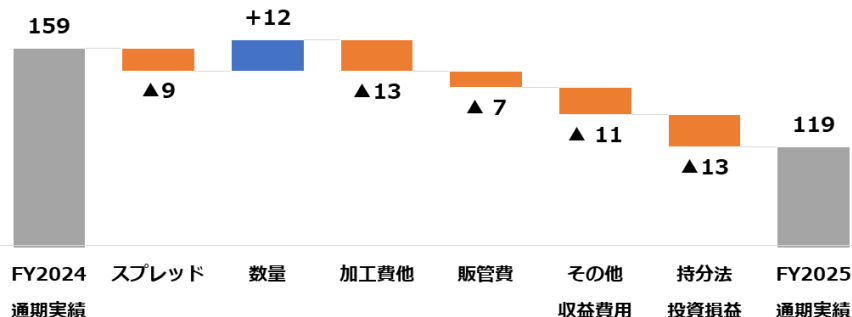
(億円)	セグメント利益		利益差	スプレッド			数量	加工費他		販管費	その他 収益費用	持分法 投資損益
	FY2024 通期実績	FY2025 通期実績		売価	変動費	在庫評価						
全社	231	187	▲ 43	+19	▲ 187	+207	+41	▲ 18	▲ 9	▲ 42	▲ 16	▲ 28



# マテリアルズ 利益増減分析

(内訳)

(億円)	セグメント利益		利益差	スプレッド		数量	加工費他		販管費	その他 収益費用	持分法 投資損益	
	FY2024 通期実績	FY2025 通期実績		売価	変動費		在庫評価					
マテリアルズ	159	119	▲ 39	▲ 9	▲ 195	+186	+12	▲ 13	▲ 3	▲ 7	▲ 11	▲ 13



## スプレッド

- (+) SAP : 原料価格下落によるスプレッド拡大
- (▲) AES・特殊エステル : 海外市況の低迷継続

## 数量

- (+) SAP : 新興国での拡販により数量増
- (▲) 特殊エステル : 需要低迷・中国品の安値攻勢により数量減

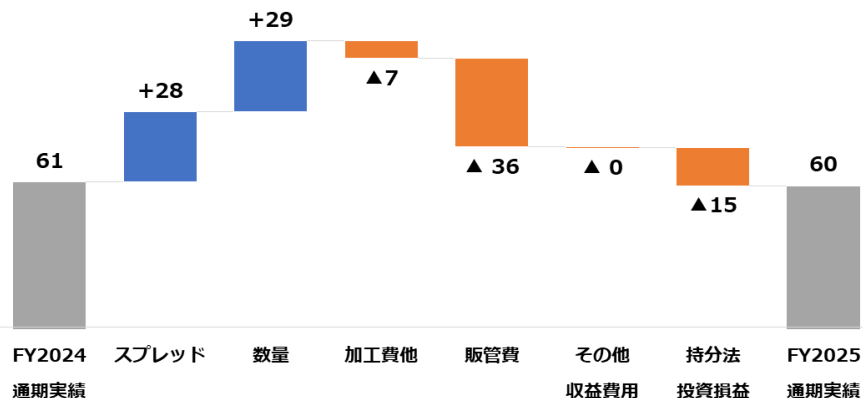
## 加工費 販管費他

- (▲) 加工費他 : 製造固定費の増加(海外)
- (▲) 販管費 : SAP数量増に伴う運搬費増加
- (▲) その他収益費用 : 一部製品に関連する固定資産の減損損失
- (▲) 持分法投資損益 : MMA市況下落による収益悪化

## ソリューションズ 利益増減分析

(内訳)

(億円)	セグメント利益		利益差	スプレッド			数量	加工費他		販管費	その他 収益費用	持分法 投資損益
	FY2024 通期実績	FY2025 通期実績		売価	変動費	在庫評価						
ソリューションズ	61	60	▲ 1	+28	+7	+21	+29	▲ 7	▲ 6	▲ 36	▲ 0	▲ 15



スプレッド	<p>(+) スペシャルティ： 界面活性剤等のスプレッド拡大</p> <p>(+) エレクトロニクス： ディスプレイ関連材料の製品構成の良化</p>
数量	<p>(+) エレクトロニクス： ディスプレイ関連材料の中国市場向け拡販</p> <p>(+) その他： イーテック子会社化に伴う数量増</p>
加工費 販管費他	<p>(▲) 販管費： 研究費増加やイーテック子会社化に伴う増加</p> <p>(▲) 加工費他： 在庫評価差益の減少</p> <p>(▲) 持分法投資損益： 持分法適用会社での減損実施</p>

## Ⅱ. 事業の状況・トピックス

---

# 中東情勢緊迫化に伴う現状

中東情勢の緊迫化に伴い、原材料および燃料の調達環境の不確実性が継続する現状では、生産・販売の前提条件を合理的に設定することが困難であるため、2026年度業績予想は未定としています。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

## 外部環境

- 中東地域における地政学的緊張の継続
- ナフサを含む石油化学原料の価格高騰および供給の先行き不透明感が継続

## 当社の対応方針

- 安定供給の維持を最優先（原燃料費上昇分の価格転嫁が前提）
- 原材料メーカーおよび顧客と緊密に連携
- 調達先の多様化や在庫確保を通じた供給体制の強化

## FY2026 足元の状況

- 当社製品供給に大きな支障は生じていない
- サプライチェーン全体の不透明感を背景に、当社製品の需要動向について見極めが難しい状況

■ ナフサ価格： 2026年1～3月 65,700円/KL ⇒ 4～6月(予想) 120,000円/KL～140,000円/KL

■ 原料調達・製品供給面：

原料調達環境は厳しいものの、製品在庫も活用し顧客への販売量は確保

■ 製品価格：

原料上昇見合いで顧客への値上げ実施中

# ソリューションズ事業の状況

- ・ エレクトロニクスとエネルギー（電池）領域における需要拡大により、販売数量増加

事業領域	市場環境	当社の状況・取り組み
スペシャリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アミン類：排水規制強化による水処理剤関連需要は堅調、CO<sub>2</sub> 吸収用途は1～2年立ち上げ遅れ</li> <li>・ 界面活性剤：汎用品市場では中国製品がアジアに流入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水処理需要増に対応する生産体制強化、新規開発品の市場開拓、拡販</li> <li>・ 高機能用途（半導体）対応製品、設備の拡充</li> </ul>
エレクトロニクス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TV用液晶パネルの大型高精細化の流れが継続</li> <li>・ 半導体パッケージは回路の微細化や3次元構造化が進展し、シリカ微粒子の粒径の均一性、小粒子化が必須</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 液晶ディスプレイの大型高精細化によりアクリビュア®等の需要拡大、高付加価値品の拡販</li> <li>・ 微粒子製造設備の生産能力拡大、半導体市場への参入加速</li> </ul>
コンストラクション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国内建設需要は減少、リフォーム需要回復も不透明</li> <li>・ 環境負荷低減ニーズの拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産設備の最適化により固定費削減</li> <li>・ イーテック社買収によるシナジー加速</li> </ul>
エネルギー（電池）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中国以外ではEV向けリチウムイオン電池需要鈍化もESS（定置用蓄電池）需要は堅調に拡大。一方で、中国ではEV、ESS需要ともに引き続き成長基調</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中国JVでのイオネル生産能力を增強</li> <li>・ 2026年度下期以降、利益に貢献</li> </ul>

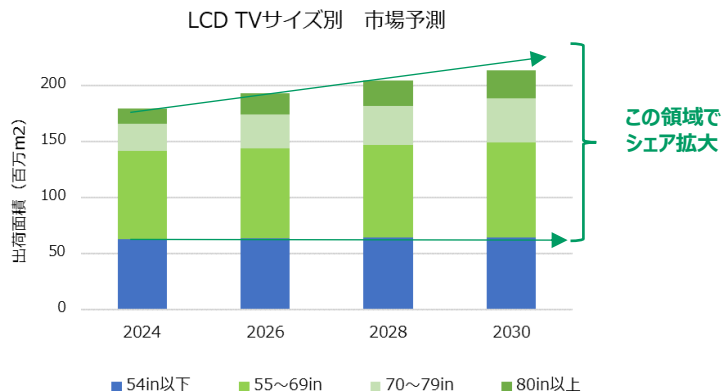
# アクリビュア® の見通し

## ■ 光学フィルム用アクリル樹脂：新グレードの採用が拡大

- ・ 大型化（フィルムの広幅化）に適した樹脂
- ・ 高精細に適した位相差フィルム用樹脂

## ● TV市場／液晶パネル出荷面積予測（サイズ別）

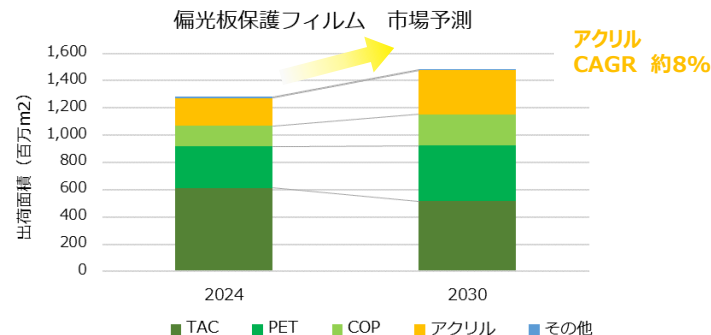
・ 55インチ以上のモデルは、毎年増加傾向が続く見込み



出典：各種資料をもとに当社作成

## ● 偏光板保護フィルム市場／出荷面積予測（PVA保護フィルム+位相差フィルム）

- ・ パネルサイズ大型化に伴い、フィルム面積も増加傾向
- ・ 高精細化に向け、非TAC化が進行



出典：富士キメラ総研「2025 デイスレイ関連市場の現状と将来展望」をもとに当社作成

# イオネル® の見通し

## 【中国JV】

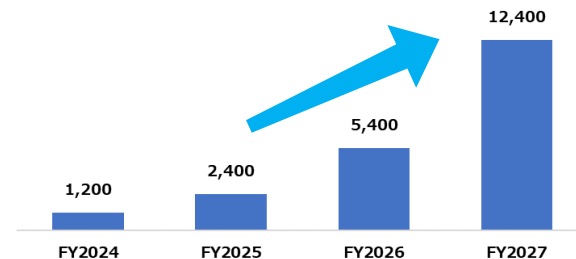
- リチウムイオン電池（LiB）用電解質の製造設備を増設
- 定置用蓄電池（ESS）向け需要拡大

増設① 2026年上期 年産3,000トン設備 商業生産開始予定

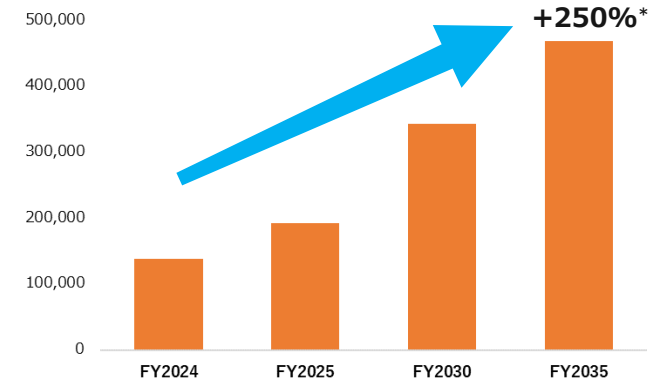
増設② 2027年上期 年産7,000トン設備 商業生産開始予定

⇒既存能力年産2,400トンと合わせて、**合計12,400トンの能力**となる

■イオネル® 中国JVの生産能力（トン/年）



■リチウムイオン電池 生産規模推移・予測  
（数量市場 単位：MWh）



## 【北九州工場】

- イオネル新工場を北九州市に建設予定

●2026年1月 着工

●2028年度中 年産3,000トン設備 商業生産開始予定

# マテリアルズ事業の状況

- ・中国の過剰生産継続・中東情勢により見通しは不透明
- ・顧客への安定供給を最優先とし、原料価格高騰に対応する製品価格転嫁を実施

事業領域	市場環境	当社の状況・取り組み
EO系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内エチレンセンターの再編</li> <li>・国内需要の減少（内需低迷、顧客の輸出減少）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EO誘導品の拡充、EO付加製品の受託事業拡大</li> <li>・EO出荷体制の強化、輸送網の拡充、生産性向上</li> <li>・他社とのアライアンス検討</li> </ul>
AA・AES	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期的に世界需要は拡大継続</li> <li>・中国の過剰生産能力により、需給バランスは当面回復が難しい状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本とインドネシアを中心に、最適生産・出荷体制を構築</li> <li>・重点顧客との取り組み強化</li> </ul>
SAP	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙おむつ市場は新興国を中心に中長期的に拡大継続</li> <li>・一部地域で競争環境激化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インドネシアでの年産5万トン能力増強（2027年7月商業運転開始）</li> <li>・高付加価値志向の顧客の取り込み</li> </ul>

## Ⅲ. 株主還元

---

## 株主還元

## 2025年度 配当金

中間  
50円/株

+

期末  
63円/株

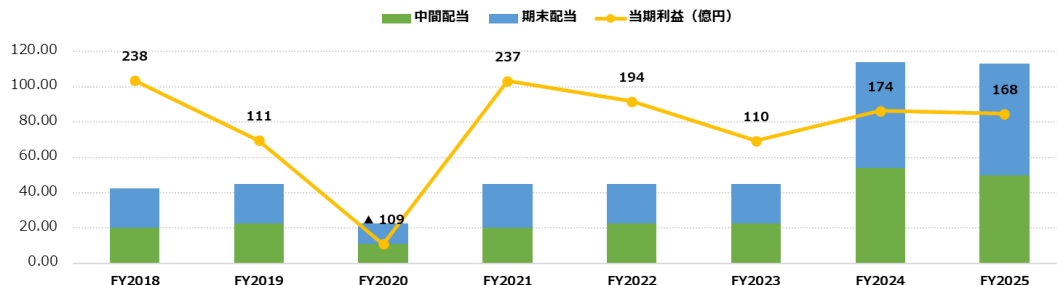
=

年間  
113円/株

## 2024年度～2027年度までの株主還元方針

- ・ 配当性向100% または DOE\*2 2.0%のいずれか大きい金額を配当する
- ・ 政策保有株式縮減等で得た資金で、自己株式を取得する

	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025
年間配当金*1 (円)	42.5	45	22.5	45	45	45	114	113
配当性向 (%)	28.4	64.7	-	30.3	36.9	63.9	100.1	100.8
自己株取得額 (億円)	0	0	0	0	30	40	50	70
DOE (%)	2.1	2.2	1.1	2.2	2.0	1.9	4.5	4.3
総還元性向 (%)	28.4	64.7	-	30.3	52.2	99.7	128.2	141.6



\*1: 2024年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行いました。

上記記載の年間配当金 (円) は分割後の金額で表示しています。

\*2: DOE=株主資本配当率

## FY2026配当金について:

2027年3月期業績予想につきましては、現在精査中です。合理的に算定した後、速やかに公表いたします。

## 参考資料

---

## 事業領域別 2025年度通期実績 前年同期比

(億円)

事業領域		FY2024 実績					FY2025 実績					前年同期比				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
AA・SAP	売上収益	591	531	553	546	2,221	543	553	530	558	2,184	▲ 48	+22	▲ 23	+12	▲ 37
	セグメント利益	40	21	12	22	95	21	31	33	24	109	▲ 19	+10	+21	+2	+14
EO他	売上収益	173	200	172	175	720	155	146	158	145	604	▲ 18	▲ 54	▲ 14	▲ 30	▲ 116
	セグメント利益	11	19	25	10	64	10	3	11	▲ 13	11	▲ 1	▲ 16	▲ 13	▲ 22	▲ 53
マテリアルズ事業	売上収益	764	731	725	721	2,941	698	699	688	703	2,788	▲ 66	▲ 32	▲ 37	▲ 18	▲ 153
	セグメント利益	51	40	36	32	159	31	34	44	11	119	▲ 20	▲ 6	+8	▲ 20	▲ 39
	内、持分法投資損益 <sup>*1</sup>	4	7	12	8	30	7	5	3	2	17	+4	▲ 2	▲ 9	▲ 6	▲ 13
スペシャリティ	売上収益	124	133	127	132	516	122	117	123	127	489	▲ 1	▲ 15	▲ 4	▲ 5	▲ 26
	セグメント利益	10	15	14	14	53	13	12	14	11	49	+3	▲ 3	+0	▲ 3	▲ 3
エレクトロニクス	売上収益	53	51	51	55	209	65	60	60	64	249	+13	+9	+9	+9	+40
	セグメント利益	8	7	10	12	36	14	15	11	13	52	+6	+8	+1	+1	+16
その他	売上収益	110	103	115	99	428	127	113	121	112	473	+17	+10	+6	+13	+45
	セグメント利益	▲ 11	▲ 2	▲ 3	▲ 12	▲ 28	▲ 3	▲ 23	0	▲ 16	▲ 42	+8	▲ 22	+3	▲ 4	▲ 14
ソリューションズ事業	売上収益	287	287	293	286	1,153	314	291	303	302	1,211	+28	+4	+10	+16	+58
	セグメント利益	7	21	20	14	61	24	4	25	8	60	+17	▲ 17	+5	▲ 6	▲ 1
	内、持分法投資損益 <sup>*1</sup>	3	4	2	1	10	5	▲ 11	6	▲ 5	▲ 5	+2	▲ 15	+4	▲ 7	▲ 15
合計	売上収益	1,051	1,018	1,017	1,007	4,093	1,012	989	991	1,006	3,999	▲ 38	▲ 28	▲ 26	▲ 2	▲ 94
	セグメント利益	59	63	61	48	231	55	41	71	20	187	▲ 3	▲ 23	+10	▲ 27	▲ 43
	内、持分法投資損益	7	11	14	9	40	12	▲ 6	9	▲ 3	12	+6	▲ 17	▲ 4	▲ 12	▲ 28
税引前利益		64	60	67	40	232	63	45	83	24	215	▲ 1	▲ 15	+16	▲ 16	▲ 17
当期利益		46	43	51	34	174	44	32	68	24	168	▲ 2	▲ 11	+17	▲ 10	▲ 6

\*1：マテリアルズ事業の持分法投資損益は「EO他」、ソリューションズ事業の持分法投資損益は「その他」の事業領域に含まれています。

## 連結財政状態計算書

(億円)

	2025年 3月末	2026年 3月末	増減
現金及び現金同等物	546	518	▲ 27
営業債権	965	913	▲ 52
棚卸資産	843	858	+14
その他	201	184	▲ 17
<b>流動資産合計</b>	<b>2,555</b>	<b>2,472</b>	<b>▲ 82</b>
有形固定資産	1,942	2,231	+289
のれん	-	35	+35
無形資産	45	60	+15
持分法で会計処理されている投資	300	300	▲ 0
その他	594	703	+109
<b>非流動資産合計</b>	<b>2,882</b>	<b>3,330</b>	<b>+448</b>
<b>資産合計</b>	<b>5,437</b>	<b>5,802</b>	<b>+366</b>

【政策保有株式】	2024年	2025年	2026年
	3月末	3月末	3月末
保有銘柄数	33	30	22
売却額 (ネット)	31億円	49億円	91億円

	2025年 3月末	2026年 3月末	増減
営業債務	548	517	▲ 32
借入金	414	587	+173
その他	549	632	+83
<b>負債合計</b>	<b>1,511</b>	<b>1,736</b>	<b>+225</b>
資本金	250	250	-
自己株式	▲ 73	▲ 39	+34
利益剰余金	3,088	3,028	▲ 59
その他	565	726	+161
非支配持分	95	99	+4
<b>資本合計</b>	<b>3,925</b>	<b>4,066</b>	<b>+141</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>5,437</b>	<b>5,802</b>	<b>+366</b>

D/Eレシオ (倍)	0.12	0.17
有利子負債	466	655

## 連結キャッシュ・フロー

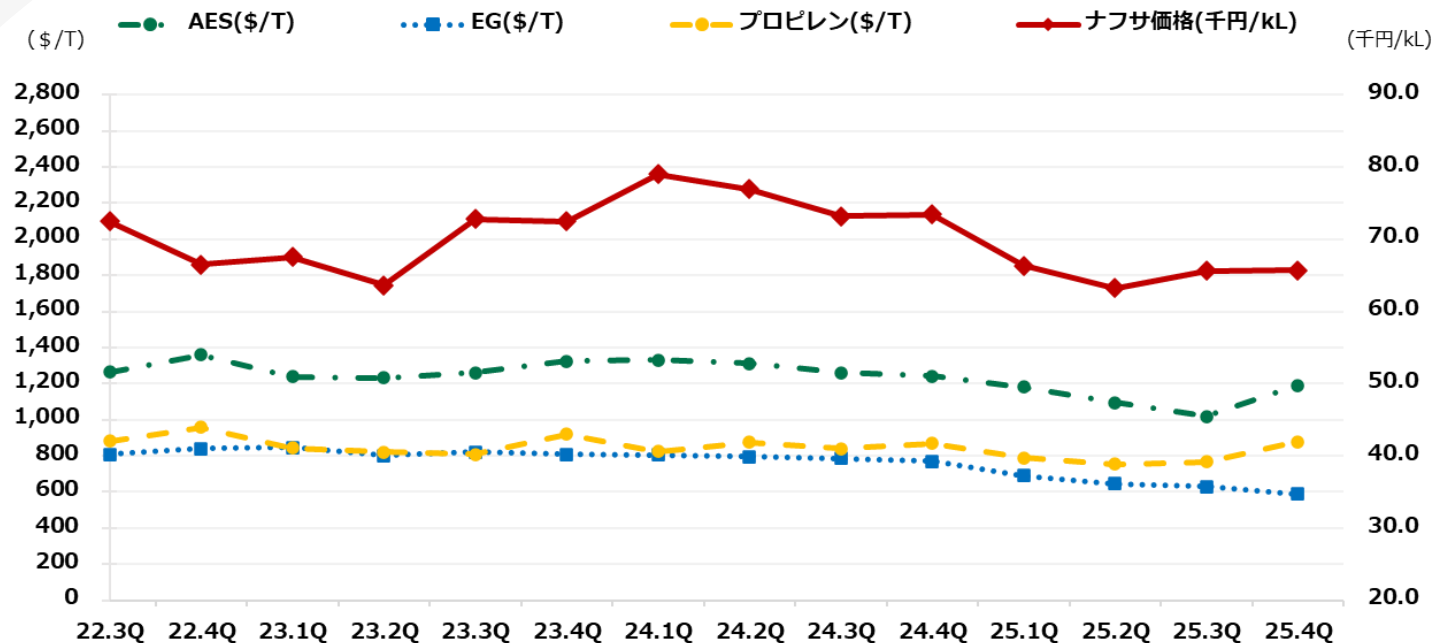
(億円)

	FY2024 通期実績	FY2025 通期実績	増減
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	470	<b>535</b>	+66
税引前利益	232	<b>215</b>	▲ 17
減価償却費及び償却費	316	<b>322</b>	+7
営業債権債務・棚卸資産の増減	▲ 50	<b>55</b>	+105
その他	▲ 28	▲ <b>57</b>	▲ 29
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	▲ 305	▲ <b>483</b>	▲ 178
<b>フリーキャッシュ・フロー</b>	165	<b>52</b>	▲ 112
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	▲ 168	▲ <b>98</b>	+69
借入金の増減額	26	<b>160</b>	+134
自己株式の取得による支出	▲ 50	▲ <b>70</b>	▲ 20
配当金の支払額	▲ 117	▲ <b>165</b>	▲ 48
その他	▲ 27	▲ <b>23</b>	+4
現金及び現金同等物の期末残高	546	<b>518</b>	▲ 27

# 連結主要指標

(億円)

項目	FY2023 通期実績	FY2024 通期実績	FY2025 通期実績
設備投資	168	378	533
減価償却費及び償却費	319	316	322
研究開発費	151	157	168
EBITDA	493	561	548
有利子負債残高	456	466	655
親会社の所有者に帰属する持分	3,834	3,830	3,966
資産合計	5,441	5,437	5,802
D/Eレシオ (倍)	0.12	0.12	0.17
自己資本比率 (%)	70.5	70.5	68.4
売上高営業利益率 (%)	4.2	4.7	4.4
ROE (%)	3.0	4.5	4.3
ROA (%)	2.9	4.3	3.8
ROIC (%)	2.9	4.3	3.3



# 為替・海外売上高実績推移

## ■ 為替

	FY23.1Q	FY23.2Q	FY23.3Q	FY23.4Q	FY24.1Q	FY24.2Q	FY24.3Q	FY24.4Q	FY25.1Q	FY25.2Q	FY25.3Q	FY25.4Q
円/ドル	137	145	148	149	156	150	152	153	145	147	154	157
円/ユーロ	150	157	159	161	168	164	163	161	164	172	179	184

## ■ 海外売上高

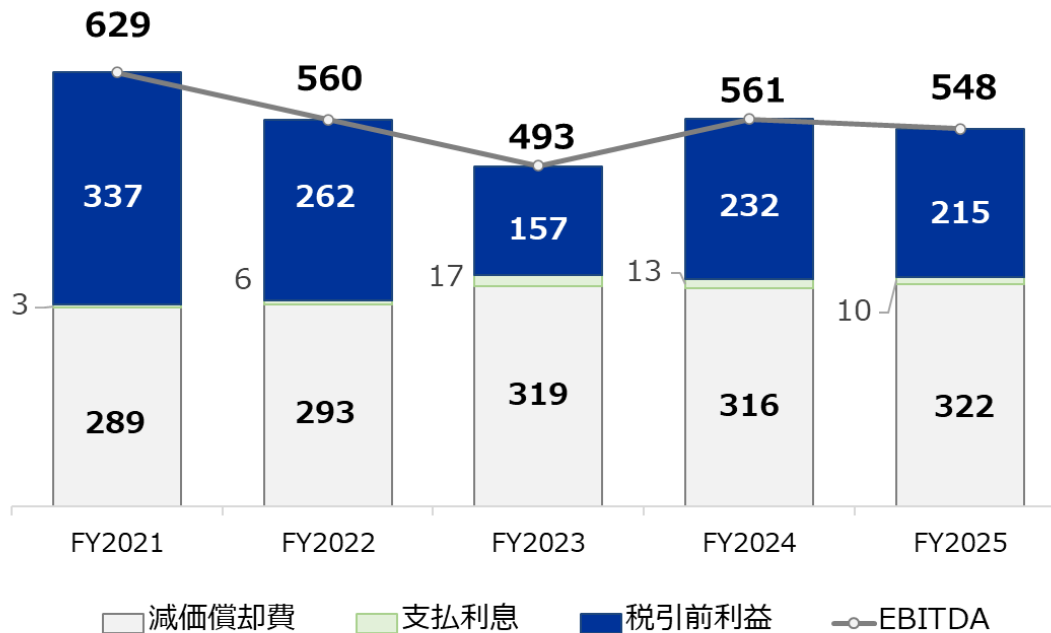
(四半期累計: 億円)

	FY23.1Q	FY23.2Q	FY23.3Q	FY23.4Q	FY24.1Q	FY24.2Q	FY24.3Q	FY24.4Q	FY25.1Q	FY25.2Q	FY25.3Q	FY25.4Q
アジア	226	467	730	992	281	562	837	1,105	247	495	756	1,012
欧州	178	343	488	644	169	325	480	628	158	325	487	668
北米	93	186	279	384	107	200	298	395	102	201	303	392
その他	52	102	141	174	34	71	106	149	34	74	108	147
<b>海外売上高 (合計)</b>	<b>549</b>	<b>1,099</b>	<b>1,639</b>	<b>2,193</b>	<b>592</b>	<b>1,158</b>	<b>1,721</b>	<b>2,277</b>	<b>539</b>	<b>1,095</b>	<b>1,654</b>	<b>2,220</b>

アジア	23.2%	23.9%	25.0%	25.3%	26.7%	27.2%	27.2%	27.0%	24.4%	24.7%	25.3%	25.3%
欧州	18.3%	17.7%	16.7%	16.4%	16.1%	15.7%	15.5%	15.3%	15.6%	16.2%	16.3%	16.7%
北米	9.6%	9.6%	9.6%	9.8%	10.2%	9.7%	9.7%	9.7%	10.0%	10.1%	10.1%	9.8%
その他	5.3%	5.3%	4.8%	4.4%	3.3%	3.4%	3.4%	3.6%	3.3%	3.7%	3.6%	3.7%
<b>海外売上比率</b>	<b>56.4%</b>	<b>56.5%</b>	<b>56.1%</b>	<b>55.9%</b>	<b>56.3%</b>	<b>56.0%</b>	<b>55.8%</b>	<b>55.6%</b>	<b>53.3%</b>	<b>54.7%</b>	<b>55.3%</b>	<b>55.5%</b>

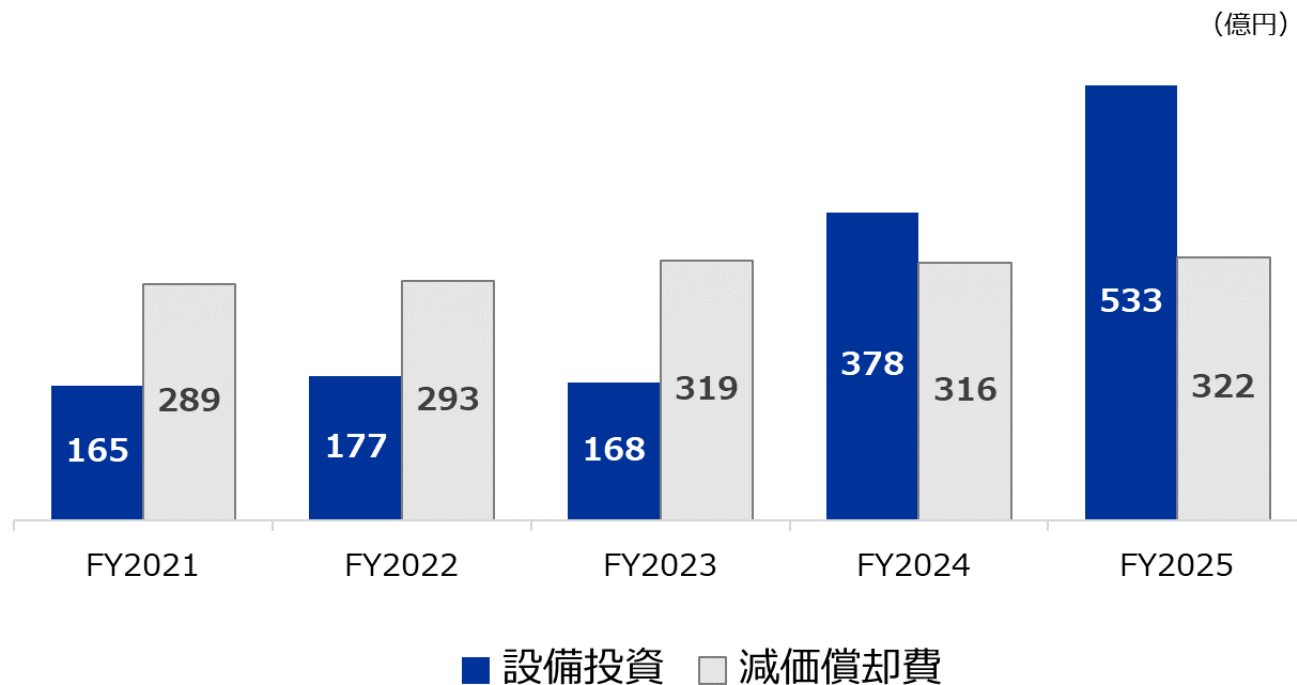
# EBITDAの推移

(億円)

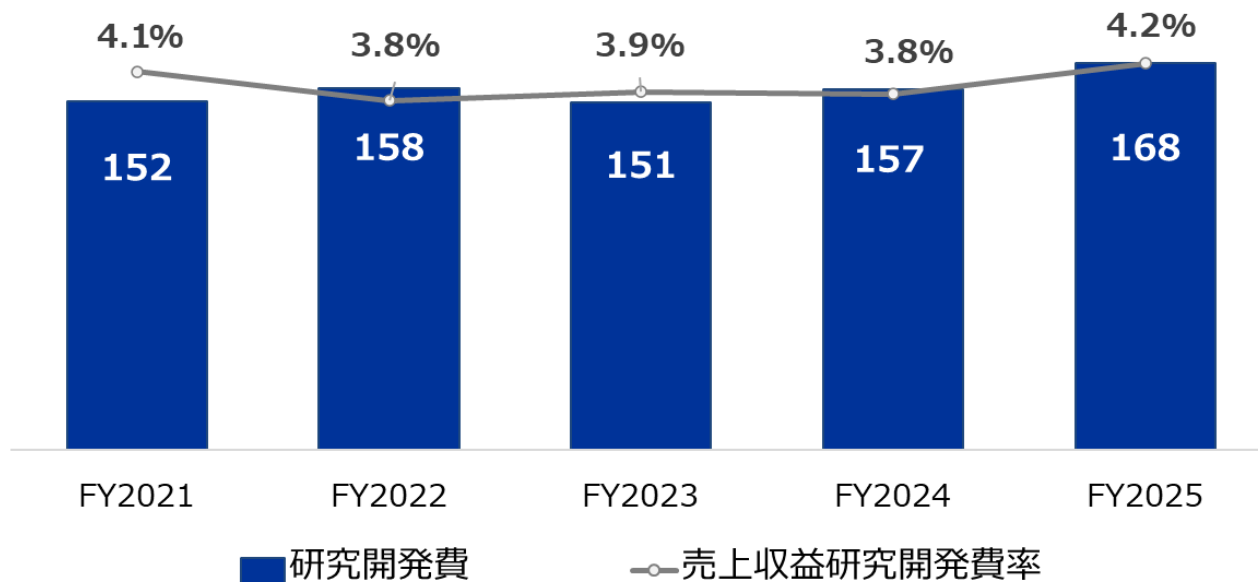


(\* EBITDA=税引前利益+減価償却費+支払利息)

# 設備投資額と減価償却費の推移



(億円)



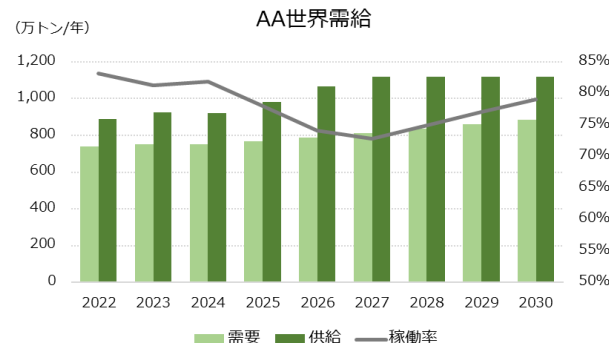
# AA/SAP 世界需給動向

## 【AA】

### ■ 需給動向

**需要** 世界需要 約780万トン（2026年推定）  
 中期的に年率3%の成長を見込む  
 （新興国では5%前後の成長を想定）

**供給** <増設/停止計画世界合計（年産能力）>  
 2025年 約 100万トン  
 2026年 約 60万トン  
 2027年以降 約 25万トン

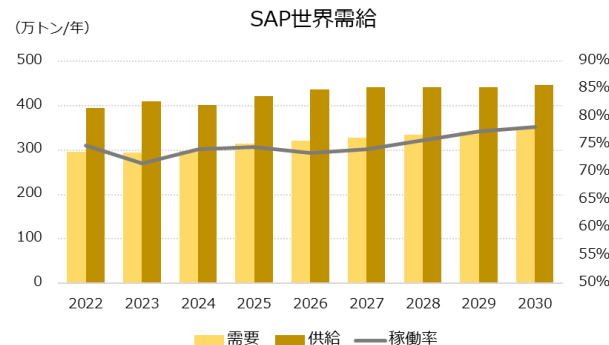


## 【SAP】

### ■ 需給動向

**需要** 世界需要 約320万トン（2026年推定）  
 中期的に年率2~3%の成長を見込む  
 （新興国では4~5%以上の成長を想定）

**供給** <増設/停止計画世界合計（年産能力）>  
 2025年 約 20万トン  
 2026年 約 15万トン  
 2027年以降 約 5万トン（当社インドネシア）



## 事業領域

マテリアルズ	AA・SAP	
	EO他	
ソリューションズ	スペシャリティ	
	エレクトロニクス	
	その他	コンストラクション
		エネルギー（電池・水素） 環境触媒
ハウスホールド 健康・医療 他		

## 主な製品

- アクリル酸・アクリル酸エステル
  - 高吸水性樹脂
- 
- 酸化エチレン
  - エチレングリコール
  - 有機酸
  - 特殊エステル
  - プロセス触媒 他
- 
- 各種アミン類
  - 水系架橋剤
  - 界面活性剤
- （主な子会社：日本乳化剤・中日合成）
- 
- 光学フィルム用樹脂
  - レジスト材料
  - 微粒子
  - 色素
  - ヨウ素
- （主な子会社：日宝化学）
- 
- コンクリート混和剤用ポリマー
  - エマルション
- （主な子会社：イーテック）
- 
- LIB<sup>\*1</sup>用電解質
  - 電解質シート
  - アンモニア分解触媒
  - 排ガス処理触媒、排水処理触媒
- 
- 洗剤原料
  - 核酸/ペプチドCDMO<sup>\*2</sup>

\*1：リチウムイオン電池

\*2：医薬品開発製造受託機関、Contract Development and Manufacturing Organizationの略語

◆ 2026年度第1四半期決算発表

**2026年8月7日（金） 13:00**

この予定は、都合により予告なく変更となる可能性があります。

本資料は、投資判断の参考となる情報提供を目的としているものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。また、記載されている内容は、資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した内容を含んでおり、記載された内容を確約したり、保証するものではありません。実際の業績は、様々な要因により、異なる結果となる場合があります。

お問合せ先：

株式会社日本触媒 コーポレート・コミュニケーション部

E-mail: [ns\\_ir@shokubai.co.jp](mailto:ns_ir@shokubai.co.jp)